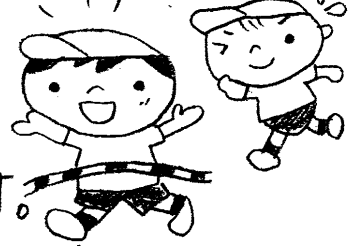




# すみれ組だより 9月号

平成30年9月20日 ことり保育園 担当:石崎

いつの間にか、セミの音が「コオロギ」の声に変わり、季節はどんどん秋に近づいてきました。



さて、運動会の練習が始まり毎日元気に取り組んでいます。

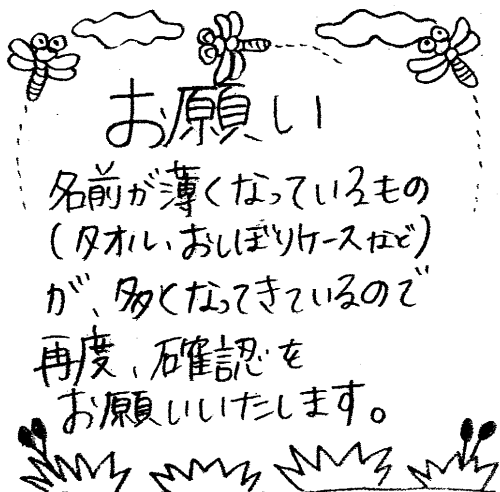
かけこも最初は少し戸惑っていましたが、1回・2回と練習するうちに、笑顔で走り楽しめるようになりました。応援する声も響き渡り、クラスの団結力が垣間見え、嬉しく思います。

おゆうぎでは、曲を流し保育者も含めクラス皆で踊り「楽しく踊る」ということを大切に日々練習しています。そして園庭から鼓笛の音が聞こえると「見たい!聴きたい!」という気持ちで「ウズウズ」していたので時々テラスに出て見学しています。すると、「ああ、こいいね」「すごーい!」「僕もやりたい」とゆり組への憧れと楽器への興味が出てきたようです。

「みんなもゆり組にならせるとだよ、楽しみだね」と声を掛けると「うん!楽しみ!」と期待を胸に過ごしています。

また、ある日のことです。園庭からドラえもんの演奏が聞こえる中製作をしていました。窓際のテーブルの子達が、「♪ドドドドドドドドドドラえもん!!」と大合唱。この7フレーズを待っていたかのように息ひらたりで「思わず」笑ってしまいました。その後の製作は集中して取り組めました。

一日一日を大切に子ども達の興味、意欲を引き出せるよう関心していきたいと思っております。



## お原貝し

名前が薄くなっているもの(夕オレ、おしほりケースなど)が、多くなってきたので再度、確認をお願いいたします。

